

ESG課題への取り組み

MUFGは、環境・社会課題解決と持続的成長をめざし、E(環境)・S(社会)・G(ガバナンス)課題に取り組んでいます。

責任銀行原則への署名とサステナブルビジネス室の新設について

MUFGは「世界に選ばれる、信頼のグローバル金融グループ」をめざして、ESGを重視した経営を推進しています。こうした考えと一致することから、MUFGは、国連環境計画・金融イニシアティブが提唱する「責任銀行原則」に署名しました。

また、三菱UFJ銀行は、これまでに蓄積された環境・社会分野に関する知見と経験を集約し、より一層強化すべく、サステナブルビジネスに横断的に取り組む専門組織「サステナブルビジネス室」を立ち上げました。お客様の事業における中長期的な環境・社会課題に対して、その解決策を共に検討し、情報・機能提供(ESGファイナンス等)を通じて、お客様の持続的な成長を後押ししていきます。



詳細は、プレスリリースをご覧ください

責任銀行原則への賛同表明について

https://www.mufig.jp/vcms_lf/news/pressrelease-20190822-003.pdf

サステナブルビジネス室の新設について

https://www.mufig.jp/vcms_lf/news/pressrelease-20190822-002.pdf

ワーケーションの導入

MUFGは、在宅勤務やサテライトオフィスといった多様な選択肢を提供し、場所にとらわれない柔軟な働き方を推進しています。

三菱UFJ銀行では、従業員の柔軟な働き方を支援すべく、ワーケーションを導入しました。ワーケーション(workation)とは、仕事(work)と休暇(vacation)を組み合わせた造語で、日常生活とは異なる場所で仕事をする新たな働き方の一つです。現在は南紀白浜、軽井沢、シンガポールにワーケーションオフィスを設けています。



東北海岸林再生プロジェクトへの参画

2011年の東日本大震災の津波により、東北沿岸部の人々の暮らしや農地を風害・塩害などから守っていた海岸林の多くが失われました。三菱UFJニコスは、公益財団法人オイスカが実施する「海岸林再生プロジェクト」に賛同し、ご利用明細書の紙からWEBへの切り替えなど、カード事業を通じたエコ活動推進により削減された費用の一部を寄付しています。また、被災地での海岸林再生プロジェクトには、MUFGグループ各社の従業員もボランティアとして参加しています。



information

「令和元年台風第19号」で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

MUFGは、義援金として、グループ6社で総額1,000万円を寄付しました。

詳細は、プレスリリースをご覧ください

https://www.mufig.jp/vcms_lf/news/pressrelease-20191017-001.pdf